

新年のご挨拶



一般財団法人岩手陸上競技協会
会長 松田 繁
(東北陸上競技協会 会長)

謹んで新年のあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、輝かしい令和4年の初春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、一般財団法人岩手陸上競技協会の諸活動に際し、皆様のご協力ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

令和3年からは、東北陸上競技協会も仰せ付かり、東北六県のまとめ役としての重責を担うスタートを切り、東北陸上のさらなる発展のために力を尽くす決意をしたところです。

令和3年もまた新型コロナウイルスの影響を受け、やむを得ず中止や延期となった競技会やイベントも多くあり、活動を自粛する期間もありましたが、そのような中、コロナ対応を工夫しながら、7月には岩手県陸上競技選手権大会も開催し、アスリートたちの躍動する姿に希望を抱きました。

私たち陸上競技界の使命は、感動を届けることであり、コロナ禍がいつまで続き、どのような今後を迎えるかは分かりませんが、今できる努力をし、困難を乗り越えて、皆様と共に感動を共有する日が続いていきますように願っています。

一般財団法人岩手陸上競技協会の役目として、新しい年も、競技者の育成強化はもちろんのこと、指導者の養成、競技力向上、審判員の増員、陸上競技場施設の改修・在り方、そして普及活動もまた私たちの務めとして挙げられます。上記のように、対応していかなければならない課題があり、そのために是非とも関係の皆様方のお力添えを得ながら、一步一步着実に進んで参りたいと思っています。

岩手の陸上競技界を牽引する役割を果たすため、加盟団体をはじめとする関係の皆様方との連携をより深め、さらなる組織力の充実を図り、積極的な取り組みを継続させていきたいと考えています。

本年も、一般財団法人岩手陸上競技協会にとって素晴らしい一年となりますよう、会員の皆様のご協力とご協力を得ながら、そして競技者の皆様の一層の活躍をご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。